

1112

株式会社平賀興業所

☆分別排出の徹底及びヨコハマ3R夢プランの啓発

- ・生ごみの排出事業者に対して、減量化やリサイクル、水切りなどの協力をしていただくよう提案している
- ・資源ごみの種類、出し方の資料を作成し、発生抑制の取組みを推奨し、3R夢の啓発を行っている

☆資源循環産業の活性化及び社会貢献活動

- ・みなとみらい21地区でペットボトルの「ボトルtoボトル」リサイクル実証実験を協力企業として開始した
- ・セブンイレブン朝日町店と協力し周辺地域の清掃を実施。また、土木事務所に依頼しポイ捨て禁止の立て看板を設置してもらった

☆3R活動等環境負荷の低減を図った事業活動

- ・車両に関しアイドリングストップや空ふかし、スピードの抑制を心掛けている
- ・臭気を低減するために常に荷箱の水洗浄を行っている

☆交通事故防止

- ・ドライブレコーダーを搭載し、運行管理者が定期的に安全走行のチェックをしている
- ・ドライバーに対して、月1回の定期教育を行っている

「ボトルtoボトル」リサイクル実証実験に協力

周辺地域清掃

「ポイ捨て禁止」立て看板設置依頼

みなとみらい21地区でペットボトルの

「ボトルtoボトル」リサイクル実証実験を開始しました！

脱炭素先行地域の「みなとみらい21地区」では、脱炭素化の実現を目指してさまざまな取組を実施しています。

この度、横浜市とサントリーホールディングス株式会社及び一般社団法人横浜みなとみらい21による「ペットボトルの『ボトルtoボトル』リサイクル実証実験」を開始しました。循環型リサイクルのモデル構築に向けて37施設が参加し、地域一体となってチャレンジします。

これに併せて、みなとみらい21地区の3施設に特別なリサイクルボックスを設置しました。みなとみらいにお越しの皆さまもぜひ適正リサイクルにご協力ください。

※ 使用済ペットボトルを原料とし、新たなペットボトルに生まれ変わらせること、ペットボトルを製成でも再生し、循環利用が可能。

1 実証実験概要

- (1) 実施期間
令和6年1月29日(月)～2月28日(水)

(2) リサイクルボックスの設置

「キャップラベル」「飲みごし」「指・ピン」の分別が可能でリサイクルボックスを3施設5か所に設置しました。分別いただいたペットボトルも実証実験で新たなペットボトルに再生します。このリサイクルボックスでは、次の取組をお願いしています。

- ①飲みきる ②キャップラベルをはがす ③分ける



【設置場所】



- 展示ホール2階(2か所) ■出入口(2か所) ■ランドマークプラザ各階
2階 横浜ランドマークタワー側
3階 バシフィヨ横浜側
クイーンズスクエア横浜側出入口(仮)
裏面あり

